



未来の
ブカツ
SPORTS



事業名 “茅ヶ崎市健康文化スポーツクラブコンソーシアム”を
核とした産官学民協働による地域スポーツクラブ推進事業
～新たなスポーツライフと茅ヶ崎文化の創造に向けて～

事業者名 一般社団法人ブラックキャップス

報告書の期日

目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
 1. メイキングストーリー
 2. そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
 1. メイキングストーリー
 2. そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

課題とゴール

1

少子化に伴う部員数の減少

- 市内公立中学校の部活動の受け皿として事業の確立。
野球をスタートとして、その他スポーツ・文化活動の展開を目指す。

2

専門性の高い指導者の不足

- 財政基盤を確立し、各競技の指導を専門とする
優れた指導者を配置

部活動の枠に捉われない新たなスポーツライフの創出

目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
 1. メイキングストーリー
 2. そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

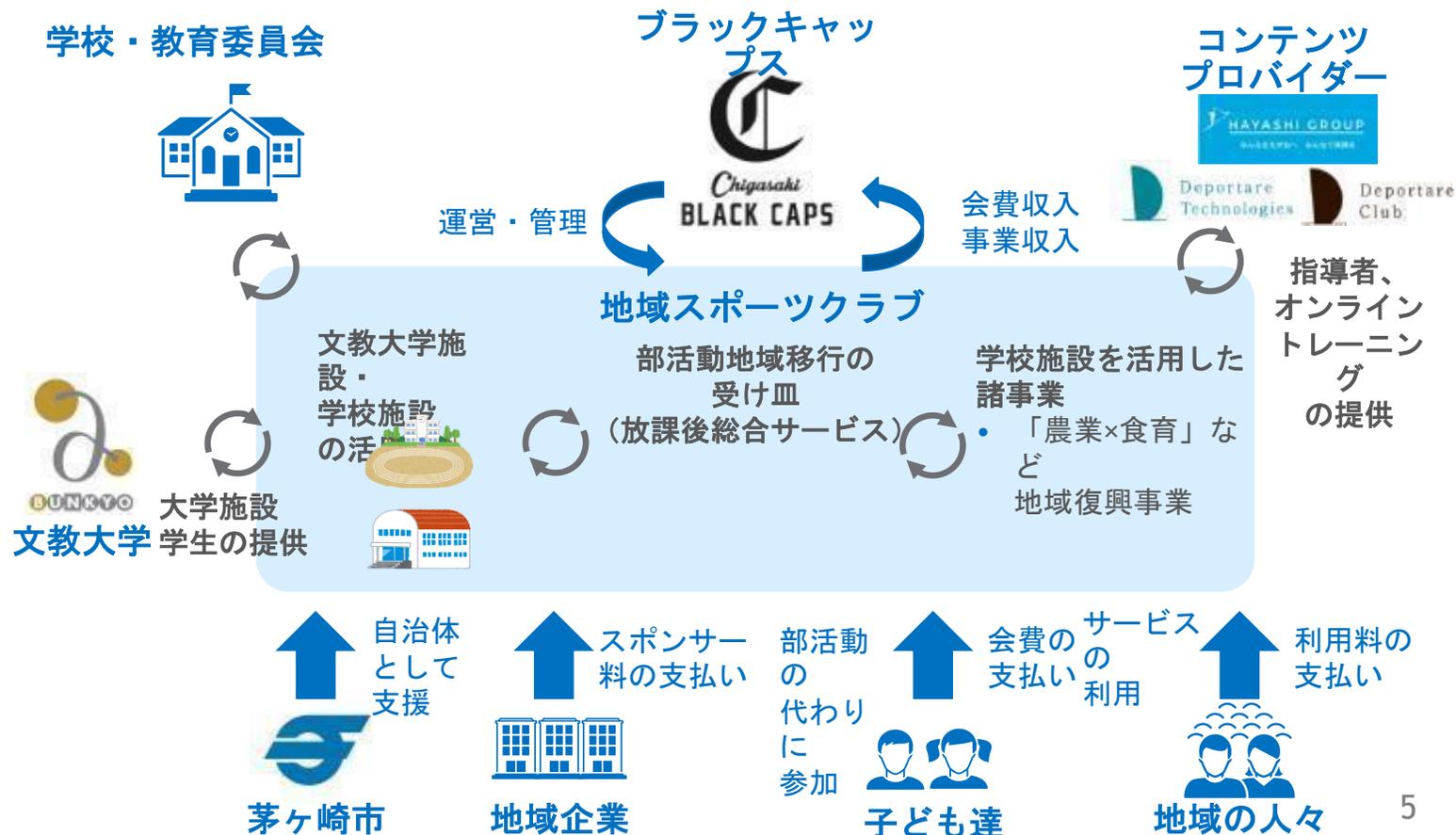
検証概要と目指す姿

検証概要

類型	A類型 (一般法人×オープン)
事業者	ブラックキャップス
他連携先	デポルターレ・テクノロジーズ ハヤシ デポルターレクラブ
実証自治体/学校	茅ヶ崎市 パーソナルトレーニングジムの
概要	ノウハウを活かしたスポーツクラブを発足、ハイクオリティを信条としつつも茅ヶ崎市の部活意向需要を取り込む。また、近隣の文教大学の施設・学生を活用することも併せて検討

目指す姿

ブラックキャップスを中心とした地域スポーツクラブを創出。文教大学と連携をして質の向上を目指しつつ、派生事業からの収入や地域企業からのスポンサー収入による自走を目指す



検証ポイント

ポイント		概要	実証有無
① 収益の確保	1 会費収入	ブラックキャップス(硬式野球)の生徒に対してアンケートを行い、受益者負担の受容度の検証、他種目への展開にあたっての課題抽出等を実施	✓
	2 事業収入	大学施設を活用したライフスタイル創出業(「農業×食育」など地域復興事業)の事業計画を策定。アンケートにより需要把握を実施	協議会*での検討まで
	3 企業からの収入	既にブラックキャップスへ協賛している企業へヒアリングを行い、協賛需要・支払い可能額を検証。将来的な収入規模試算、実現にあたっての課題抽出等も実施	協議会*での検討まで
② 効果的・効率的な運営	4 指導者の質・量の確保	民間スポーツクラブとの連携により、質が高く、多様な競技に対応できる指導者提供スキームの検討を実施。硬式野球については実証も実施	✓
	5 デジタルツールの活用	デポルターレクラブが培ってきたノウハウを活用したオンライントレーニングを行い、利用者満足度の検証、実現にあたっての課題抽出等を実施	✓
③ 学校部活動との関係整理	6 学校・地域との協働	茅ヶ崎市との協議を行い課題を抽出するとともに、市民フォーラムを開催することで、市全体を含めた普及・啓発を図る。市民に対してはアンケートも実施し、課題感の把握を実施	✓
④ 放課後総合サービス検討	7 大学施設・学生の活用	大学施設、そこに通い健康を学ぶ学生、デポルターレクラブのHCC**を活用したライフスタイル創出業の展開計画を策定。アンケートにより需要把握を実施	協議会*での検討まで

*事業者コンソーシアム・茅ヶ崎市、有識者で構成され、月1以上のペースで議論予定、**ヘルスケアカタリストとは、デポルターレクラブが定めた独自の民間資格で、“健康を促進・触媒する人”を指す

提案時の事業計画

2021年度

【基盤整備】

- 体制構築
 - コンソーシアムの設立及び定例会の開催
- モデル事業
 - 茅ヶ崎ブラックキャップス（硬式野球）での検証
- ニーズ調査
 - 生徒及び保護者
 - スポンサー企業
 - 他地域の先進事例調査
- 普及・啓発
 - 市民フォーラムの開催

2022年度

【自立化準備】

- 体制強化
 - 協定等の締結
- 財政基盤の強化
 - スポンサー営業
 - 市の予算化支援
- 他競技への展開
 - バスケットボール
 - 水泳

2024年度

【黒字化】

- 市内の3割の部活動を地域スポーツクラブに移管
 - ターゲット競技：サッカー、バスケットボール、陸上競技、水泳
- プロフェッショナル指導者の配置
 - 受益者負担、スポンサー収入による収益源の確保

2025年度

【事業拡大】

- 新たなスポーツライフの創造
 - サーフィン、チアリーディングなど部活動の枠に捉われない茅ヶ崎らしいスポーツライフを創造する
- 茅ヶ崎文化の発信
 - 「農業×食育」など茅ヶ崎の健康的な文化を発信する

目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
 1. メイキングストーリー
 2. そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

検証の歩み

見出	詳細p	年月日	議論相手	概要
a.	P.10	21/1/30	事業者内	目指す姿の話し合い
	P.10	21/3/27	文教大学	公募への提案について、協力できるポイントのご相談
		2021/9/14	文教大学	提案・採択
		2021/9/15		検証内容説明と今後への協力依頼
		2021/9/22	文教大学	ポニーリーグ取材
		2021/9/24		定例委員会にて本事業への参加者のご相談
b.	P.11	2021/10/8・9		「未来のブカツ」イベントに登壇
c.		2021/10/13	茅ヶ崎市	Beyond掲載
		2021/10/26	文教大学	検証内容説明と今後への協力依頼
d.	P.11	2021/10/28	教育委員会	コンソーシアムメンバーでのキックオフ
e.	P.12	2021/10/30	ブラックキャップスの選手/保護者	検証内容説明と今後への協力依頼
		2021/11/24	文教大学・茅ヶ崎市(教委含む)	ヒアリングの実施
		2021/12/8	事業者間	協議会の実施
		2021/12/9	文教大学	協議会を踏まえた文教大学との進め方の方針相談
		2021/12/17	文教大学	文教大学側が抱える課題、BCと協業できることのヒアリング
		2021/12/18	文教大学	文教大学にBCと協業することのメリットを見える化するイベントの相談
		2021/12/23	茅ヶ崎市・教育委員会	ヒアリングの実施
		2022/12/25	文教大学	年末挨拶、現状ヒアリングの実施
		2022/1/14	文教大学	施設活用についてご相談
		2022/2/10	文教大学	施設活用についてご相談
			文教大学	シンポジウム、ゼミについて

a. 目指す姿の設定に当たっての事前相談

概要

- 年月日
 - 2021/1/30
- 議論内容
 - 学校部活動の課題について

議論内容詳細

- 文教大学との包括連携のご相談と、産官学民、地域連携含めた将来的な目指す姿を説明する。
- 会議参加者：文教大学湘南キャンパス中村容総務課長、
榎晴太郎神奈川県議会議員、
株式会社ポジティブ代表取締役竹下雄真、
株式会社ハヤシ代表取締役林正洋、
株式会社ハヤシ佐藤勇氣

a. 目指す姿の設定に当たっての議論

概要

- 年月日
 - 2021/3/27
- 議論内容
 - 学校部活動の課題について

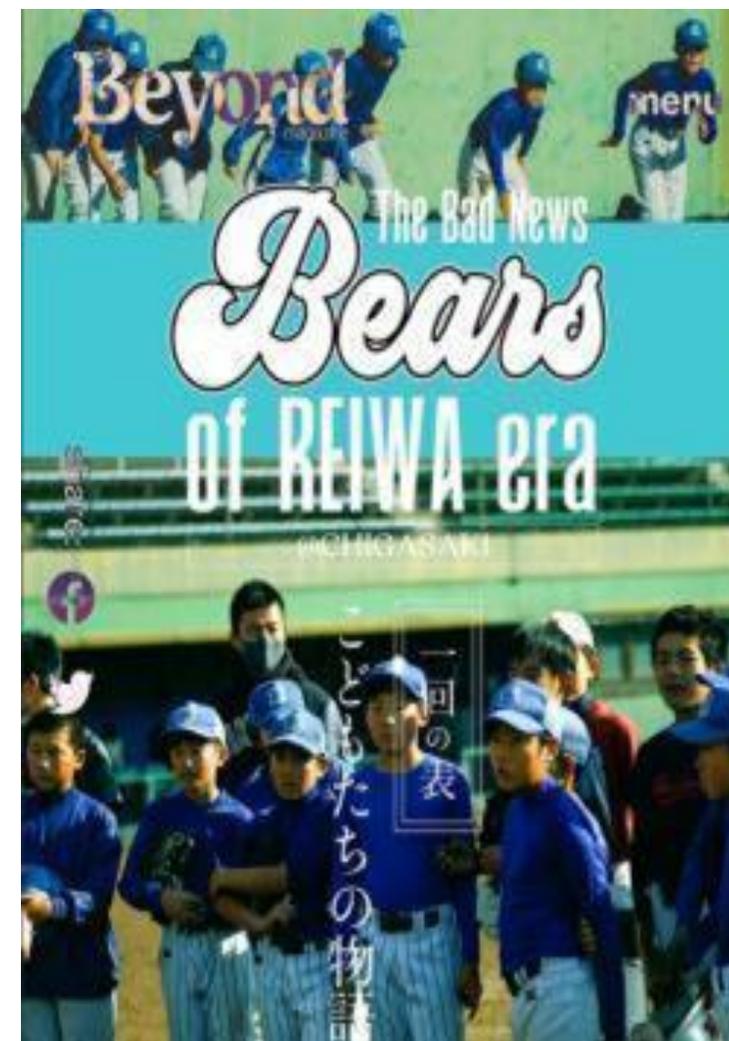
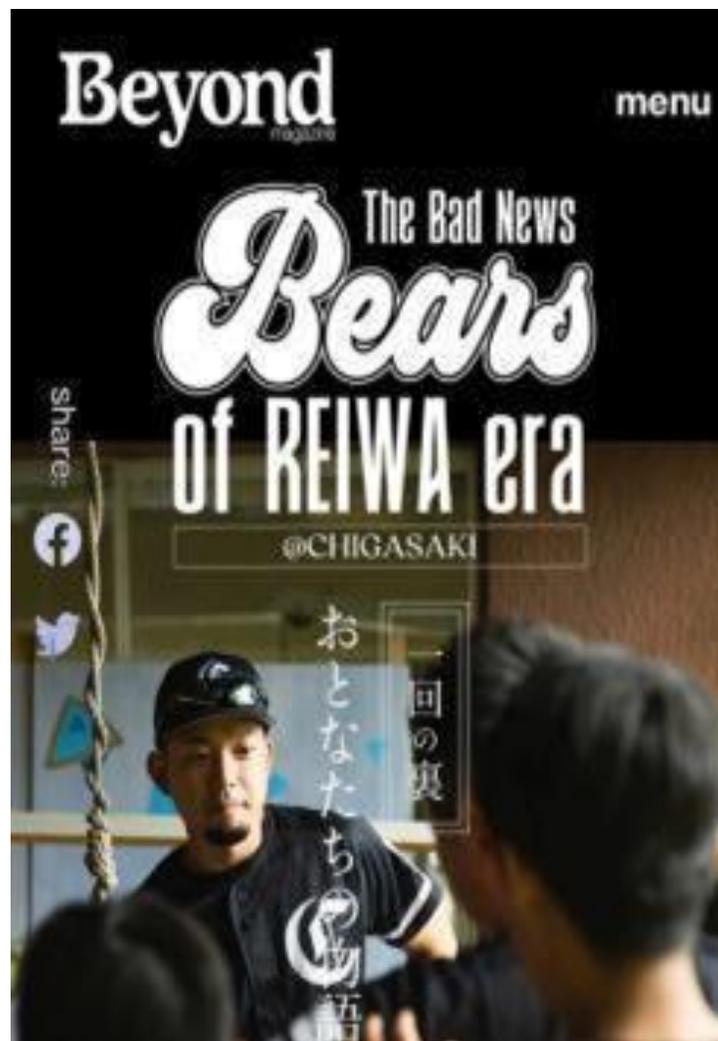
議論内容詳細

- 中村容課長の学内調整により、文教大学国際学部小林勝法教授、文教大学湘南総合研究所渡邊所長予定者と面会し、地域×スポーツクラブ産業研究会について、茅ヶ崎ブラックキャップス設立背景、趣旨、産官学民連携協働における主な検討事項、最終的に目指す姿を説明する。
- 会議参加者：文教大学国際学部小林勝法教授、文教大学湘南総合研究所渡邊美樹所長予定者、文教大学湘南キャンパス中村容総務課長、榎晴太郎神奈川県議会議員、株式会社ポジティブ代表取締役竹下雄真、株式会社ハヤシ代表取締役林正洋

b. メディア取材による"カッコいい"の創出

概要

- 年月日
 - 10/8・10/9 Beyond
- 内容
 - ブラックキャップスの強みであるブランディング力を活かして、"地域スポーツクラブに入るとカッコいい"というイメージの創出を行った
 - "カッコいい"のイメージの創出により、子どもたちの参加したい気持ちの掻き立てを狙う



e. 21/10/30 ブラックキャップスの生徒・保護者に対するヒアリングの実施 (サマリー)

概要

- 年月日
 - 21/10/30
- 参加者
 - ブラックキャップス選手の保護者
- 議論内容
 - 経産省取組みの理解度、現活動に対しての意見・基準の確認

議論内容詳細

(収入確保)

- 大半は10,000円しており、それ以上支払っていいという方も多い。理由としては指導の質/量/活動を通じてられる経験に満足しているためと想定される
- 一方、不満を持たれている方もおり、理由としては、指導の内容に満足が行っていない、月謝以外にも交通費や会場台がかり負担になっているとの回答が上がった
- また、仮にバスなどを運用する場合には取得のための資金が必要となり、新たな収入源の模索も必要

(効率的な運営)

- 大半の人が指導の質に満足。高い指導の定義として、資格/資格相当の経験（プロ、全国レベル、経験）と、個々の能力を引き出せる指導力（コーチング等）を重視されている
- 一方、内容に不満との回答もあり、指導の質/カリキュラムに問題があるのか、取り組み内容や効果がうまく保護者に伝わっていないのかを明らかにする必要がある
- また、運営に関しては、グラウンド環境、チームバスがないことへの不満が上がった。

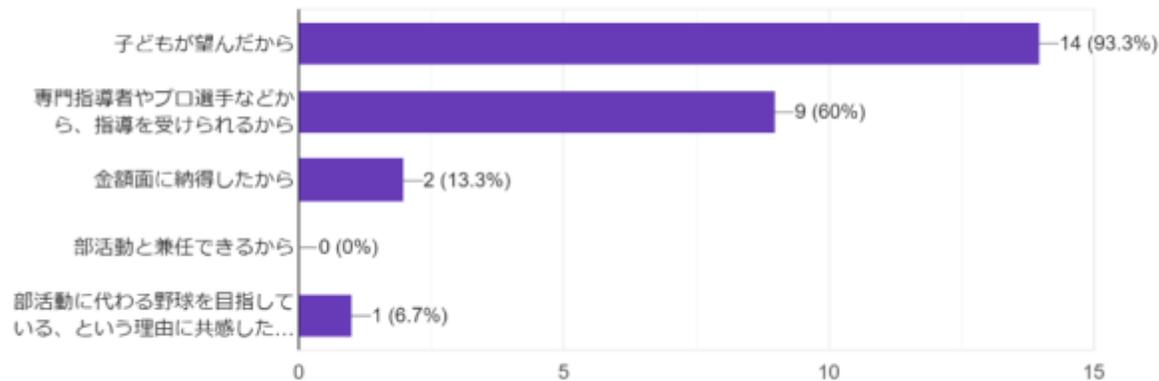
(学校との折り合い)

- ブラックキャップスでは地域の清掃活動や農業活動もしている事より、「礼儀や挨拶等の人間性・社会性を学べる」が加入理由の2位に来ている。部活動だけでなくとも社会人基礎力を学ぶことは可能そう
- 学校部活動とブラックキャップスを兼部している子どもには、なぜかの理由をヒアリング

e. 21/10/30 ブラックキャップスの生徒・保護者に対するヒアリングの実施 (詳細)

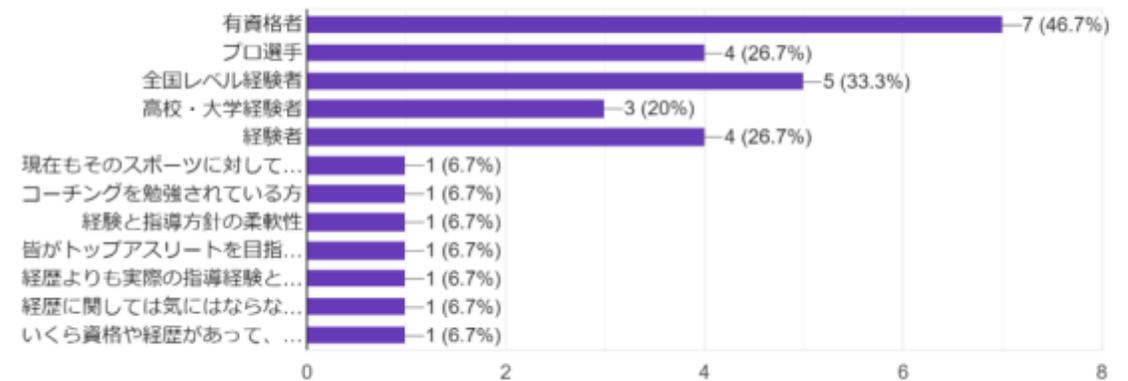
①なぜ部活動ではなく、茅ヶ崎ブラックキャップスを選択しましたか？（複数選択可）

15件の回答



④質の高い指導の要件とはなんですか？（複数選択可）

15件の回答

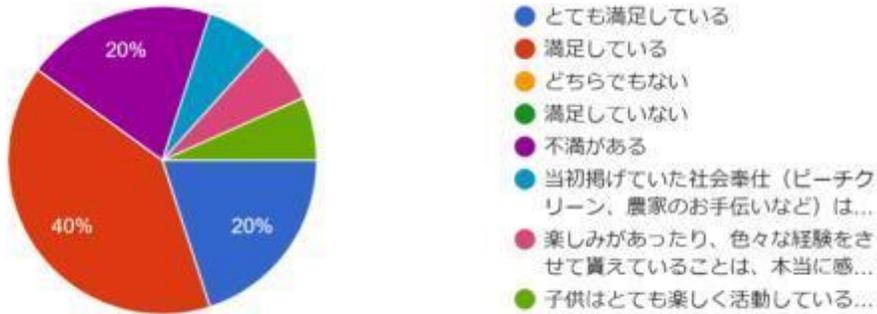


- 子どもの意向で入部を決めることが多数ではあるが、指導についても保護者は気にしていることが分かった。
- 質の高い指導については、有資格者が圧倒的に多いことが分かったが、そのスポーツに対して、以下の意見のように過去の経験は特に問わないという意見も多数上がった。
 - 最新の知識があること
 - それぞれの性格や体格を活かす指導を考えられること
 - 成長途中の子どもを、力が引き出せる指導力・知識が大事
- 保護者としては、優秀な資格者よりも、個々の能力を引き出せる指導力を望んでいることが分かった
- 現小6保護者の声では、しっかりと話し合えることという意見もあり。

e. 21/10/30 ブラックキャップスの生徒・保護者に対するヒアリングの実施 (詳細)

③茅ヶ崎ブラックキャップスの現在指導と活動の満足度は？

15件の回答



- 60%については、満足をしているが、中には不満なども上がっている。
- 不満の声は以下の通り
 - 当初掲げていた社会奉仕（ビーチクリーン、農家のお手伝い）が出来ていない
→大会期間だったため、出来なかった期間があった。
 - 成長させる意味で皆にチャンスを与えてほしい。勝利至上主義はまだ植え付けなくていい。

②現在週5回の活動をしているが、この日数について

15件の回答



- 保護者は活動日数に対して、敏感であると仮説を立てていたが、日数ではなく内容に対して、見てることが分かった。内容について、どうなると妥当なのかなど、深掘していくべき？
- 現在ブラックキャップスの内容については、以下のとおり。
 - 月・金...OFF
 - 火...on-linetraining 17:30-18:10
 - 水...Weight training 17:00-19:00@パルパルススポーツクラブ
 - 木...グラウンド練習 17:00-18:30@平和学園の河川敷グラウンド
※他の地域にも行けそう
 - 土...グラウンド練習 9:00-17:00文教大学
 - 日...練習試合or大会

g. メディア取材による"カッコいい"の創出

概要

- 年月日
 - 12/3 Full-Count前編
<https://full-count.jp/2021/12/03/post1163280/>
 - 12/10 yahoo ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/articles/2c67becbfd6f35d07d7243f26ccadcbb9f3e0bbf>
- 内容
 - ブラックキャップスの強みであるブランディング力を活かして、"地域スポーツクラブに入るとカッコいい"というイメージの創出を行った
 - "カッコいい"のイメージの創出により、子どもたちの参加したい気持ちの掻き立てを狙う

「カッコよくあれ」中学野球に新風を吹かす 新生硬式チームが挑む新たな形とは？

少年野球 2021.12.03 [Twitter](#) [Facebook](#) [LINEにおくる](#) [Bookmark](#)



試合で大きな笑顔を浮かせる茅ヶ崎ブラックキャップスの子どもたち【写真提供：茅ヶ崎ブラックキャップス】

相談できる、パートナーがいる。

発毛医療の  Dクリニック

※初診費用 5,500円 / 再診(標準) 3,500円 / 再診(標準) 3,500円 / 再診(標準) 3,500円 / 再診(標準) 3,500円

[詳しくはこちら](#)

デポルターレクラブ代表・竹下雄真さんが地元・茅ヶ崎で奮起

コロナ禍の真っ只中にあった2021年春。神奈川県湘南エリアを代表する茅ヶ崎で、新たな中学硬式野球チームが産声を上げた。それが「茅ヶ崎ブラックキャップス」だ。日本ポニーベースボール協会(以下、ポニーリーグ)に所属するチームのメンバーは1年生だけ14人。小学生の時に同じチームだった11人と隣のチームにいた3人で、新たな一歩を踏み出した。

【PR】早稲田大学 | プレミアムブランド「無料体験」実施中！各分野のプロが動画開設 野球育成 技術向上プログラム「TURNING POINT」

相談できる、パートナーがいる。

発毛医療の  Dクリニック

※初診費用 5,500円(税込) / 再診(標準) 3,500円(税込) / 再診(標準) 3,500円(税込)

[詳しくはこちら](#)

h. 文教大学課題ヒアリング

概要

- 年月日
 - 12/9
- 参加者
 - 文教大学
中村様
 - 吉野
- 議論内容
 - 文教大負担、
課題の抽出
 - 動きが遅い
ことに対し
てのヒアリ
ング

議論内容詳細

【進まない理由】

- 教員は個人事業主的立場のため、当事者意識がないが、
専門領域のことになると、進みやすいのではないか

【対策と対応】

- 経産省からの公的文書
公的文書があると大学として取り組むことになるが、窓口が「地域連携センター」となる。
地域連携センターは全学の窓口となるため、動きが鈍くなる可能性あり。
- 連携強化
渡邊所長が次年度から栄養学科のゼミを持つため、そこから連携強化していける。

i. 未来のブカツの取組みを絡めた掲載

概要

- 年月日
 - 12/10 Full-Count後編
<https://full-count.jp/2021/12/10/post1165988/>
 - 12/10 yahoo ニュース
<https://news.yahoo.co.jp/articles/4504c38bb5d7144c77317afaa76fd8a8c1605e05>
 - 12/10 タウンニュース茅ヶ崎
<https://www.townnews.co.jp/0603/2021/12/10/603871.html>
- 内容
 - 経産省の実証実験に採択されたことから茅ヶ崎ブラックキャップスの取組を紹介。タウンニュース茅ヶ崎は反響大。



j. 文教大学

概要

- 年月日
 - 12/17
- 参加者
 - 文教大学
渡邊様、
中村様、
大橋様
 - 吉野
- 議論内容
 - 論点勉強会
(学校施設
の利用)の
内容共有
 - 共同研究に
ついて

議論内容詳細

【論点勉強会共有】

- 営利目的論点
 - 吉野：現在茅ヶ崎ブラックキャップス選手から月謝をいただいているが、営利目的ではなく、運営必要経費という認識。
 - 中村様：施設利用料を取ることになると、そこに対する対応や手間・お金の管理が大変。
- 利用可能範囲
 - 吉野：大学側管理を民間の指定管理会社に任せられないか。
 - 中村様：民間指定管理に委託することは考えられるが、学内調整（催事イベント等）の調整が必要で、ハードルが高いとのこと。またセキュリティーの部分も懸念。

【共同研究】

- 情報学部 大橋先生：現在茅ヶ崎ブラックキャップスで定期的に行っているSprint教室での指導前後の分析であれば可能。かつ栄養学科とも子供の成長時期の栄養指導について、連携できるのではないか。

【文教大学状況】

- 正式文書があることで、文教大学本体でやるべきことを、文教大学湘南キャンパスが動いているんだよという形になれば、動きやすいのではないか。
- 経産省からは、正式文書を出すことは可能だが、「マンパワーが足りない」ということだったので、
正式文書が出ても動けないのではない？という見解ありのため動けていない。

1. 文教大学mtg

概要

- 年月日
 - 2/10
- 参加者
 - 小林先生、
 - 渡邊先生、
 - 大橋先生、
 - 中村様、
 - 林、山野、
 - 吉野
- 議論内容
 - シンポジウム
 - 今年度ゼミ内容

議論内容詳細

- ①ゼミの内容議論
 - 学生募集の仕方が今年から変更があり、検討会議後、渡邊所長と吉野を中心にゼミ内容討論/募集に対しての資料作成
- ②シンポジウムについて、方法や実施時期を小林先生の見解を聞いて持ち帰り、最終的にいつにするか。
 - 再度教育委員会に部活動の地域移行に対して、どういう方針でいくのか考えを再度ヒアリングが必要である。また、それに沿って一緒に取り組んでいくべき。
 - 茅ヶ崎市はどこのボタンを押せば動き出すのかを認識が必要。
 - 「茅ヶ崎市全体でやっていくこと」という大きな絵を描いていく必要性あり
 - 当事者は課長、決定者は教育委員長/市長になるので、「ジュニアスポーツの構造改革」を打ち立てていく。→教育委員会へ文教大学との連携強化報告を含めて、再度話し合いの場をいただけるように依頼。
- ③今後の進め方
 - ・ 構造改革/シンポジウムについて、小林先生（あくまでもオブザーバー）のご意見いただく機会を設けて進めていく（基本的にはブラックキャプスが進めていく）
 - ・ ゼミにてついで渡邊先生と連携 — 教育委員会へヒアリング+小林先生かは気にしてい

事業を通して出てきた課題と対策

課題

今後に向けた対策

①意識の格差

産官学民連携でのプロジェクトを想定していたが、
関係者間での問題の優先度が異なりスピード感、動きにずれが生じた

- 現状の課題の深刻度、その課題に対する本取組みの意義を各関係者(決定権者含む)ですり合わせの場を定期的に設ける
- 文科省からの大方針が出ると、課題取組みへの優先順位が上がり、議論のアクセルがかかる可能性もある

②財源確保

月謝のみでのチーム運営は厳しい状況。アパレル販売やスポンサー営業も行ったものの黒字化の見通しは立っていない。
また、チーム管理体制も構築されておらず、このまま事業拡大が進む運営面が回らなくなる状況になることが懸念される。運営人員増大のために更なる収益確保が必要となり行き詰る結果に

- まだ取り組めていないクラウドファンディング等の収入源にもトライ
- 文教大学との取組みを拡散し、地域連携を深めることで、地域企業からの支援も狙う
- 運営面は、多くの地域スポーツクラブが抱える課題として問題提起したい点。
うまく経営を行っているクラブの事例を調査、取り入れられる点をまねていく

ブラックキャップス × 文教大学の協業によるメリット

ブラックキャップス
更なる質の向上につながる



文教大学
地域連携の契機となる



【クラブ】

- ・ 地域連携
- ・ 施設の活用
- ・ スポンサー営業

【大学】

- ・ 地域連携
- ・ 施設の利活用
- ・ 学生満足度向上/学生数の上昇

場所の提供

取組み拡散

【選手】

- ・ 食育の享受
- ・ 栄養の知識向上
- ・ パフォーマンスの向上

【大学側/教授】

- ・ 地域貢献活動
- ・ 実験研究の協力（被験者）
- ・ 学生の教育の場の享受

栄養指導

【保護者】

- ・ 栄養の知識向上
- ・ レシピと料理意欲の向上
- ・ 選手のモチベーションアップ

【学生】

- ・ 栄養指導の経験
- ・ 机上では語れない生きた学習

実習協力

目次

1. 背景・目的
2. 検証概要
3. 検証結果の報告
 1. メイキングストーリー
 2. そこからの学び・示唆
4. 今後に向けて

2022年 目指す姿

他の地域スポーツクラブと連携し、茅ヶ崎市全体の受け皿を議論するのと並行して、文教大学との連携を深め質の向上を目指す



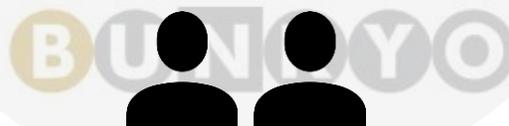
授業

文教大学
湘南キャンパス

施設の利活用



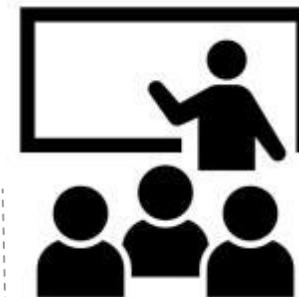
インターン



学生

他地域スポーツクラブ

後援



シンポジウム

ヒアリング

情報提供

情報共有、ヒアリング

一般社団法人
ブラックキャップス



海掃、農業体験

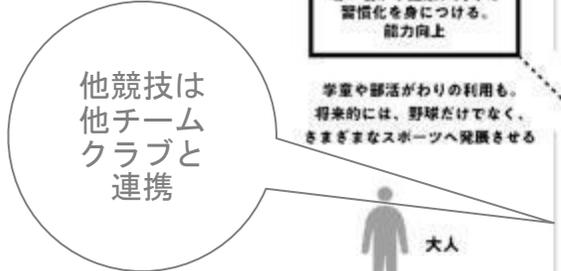
ゼミ

最終的な目指す姿

市・大学・クラブとで連携をして、老若男女の地域が集いつつ、心身の健康や基礎体力を向上できる場づくりを目指す。結果として、地域コミュニティの強化、派生事業の観点での新事業創出や地域ブランドの貢献につなげる

Wellness Hub 構想

茅ヶ崎市 × 文教大学 × ブラックキャップス



子どもを含めた老若男女、地域のすべての人の心身の健康や、基礎体力（病気に負けない力）、その他能力の底上げを目指す

結果として、地域コミュニティ強化、新事業創出や地域ブランド向上に。

事業計画

現実的な計画変更

2022年度

【基盤作り・認知拡大】

- 文教大学連携
 - 健康栄養学科ゼミとの合同研究
→成功させる！
 - 公開シンポジウム
 - 施設管理の委託説明と準備
- 財政基盤確立
 - スポンサー獲得（300万/年間）に向けた営業を拡大
 - 指導者給与の規程策定
- ニーズ調査
 - 地域スポーツクラブ関連者
 - 他クラブチーム関係者
- メディア露出
 - 文教大学×BC
 - 地域移行の動き

2023年度

【基盤作り・認知拡大】

- 文教大学連携
 - 継続的な学生（健康栄養学科ゼミ）との共同研究
 - 施設利用範囲拡大
 - 施設管理の委託準備
 - 情報学部インターン開始
- 財政基盤確立
 - スポンサー獲得（300万/年間）に向けた営業
 - 組織システムを構築
- ニーズ調査
 - 地域スポーツクラブ関連者
 - 市民への説明会開催
- 受け皿の拡大
 - 他競技チーム創設
 - 他クラブチームとの連携開始

2024年度

【自立化準備】

- 財政基盤強化
 - スポンサー営業
 - 市の予算化支援
- 他競技への展開
 - バトミントン
 - 水泳
- 茅ヶ崎文化発信
 - 「農業×食育」など茅ヶ崎の健康的な文化を発信する
- ニーズ調査
 - 地域スポーツクラブ所属選手の保護者
 - 市民フォーラム開催？

2025年度

【自立化・拡大】

- 市内の3割の部活動を地域スポーツクラブに移管
 - 例) ターゲット競技：陸上競技、水泳、バトミントン、男子バレー
- ニーズ調査
 - 地域スポーツクラブ所属選手の保護者
 - 市民フォーラム開催？

事業収支計画（年間）

費用

- 人件費/交通費 2,246,400円
 - 指導者（2名） 1,497,600円
 - 管理者（1名） 748,800円
 - ※1人62,400円/月を想定
(2,080円/h、月30時間勤務)
 - ※**指導者規程の策定**が必要（2022年度実施）
- PR/広報 600,000円
50,000円/月の事業を想定。
- 施設利用費 120,000円
2時間/日 平均5,000円
※茅ヶ崎ブラックキャップスは文教大学利用（無償）のため、月に1.2回利用
- その他経費 400,000円
税理士、謝礼、交際費等

売上

- 受益者負担 1,800,000円
- 会費 1,800,000円
14名 × 10,000円/人を想定。
-

- その他の収入源 1,560,000円相当
 - ・ スポンサー 1,200,000円
100,000円/月の事業を想定。
 - ・ アパレル 360,000円
30,000円/月の事業を想定。



他の収入源の模索が必要